

逆監禁　↳サイコパス女子高生による拘束メス堕ち逆レイプ♡

第一章　【邂逅】－Prologue

＊雨の中を徒歩で帰宅するヒロイン

＊少し離れた後ろから隠れて追いかける主人公（ストーカー）

＊ヒロインが突然立ち止まりゆっくり振り向く

……あの、ついてきているのは分かっていますよ。

ストーカーさん、ですよね。隠れていないで出てきてください。

＊少し躊躇するが電柱の影からおそるおそる出てくる主人公

ふふ、やつと会えた……♪

＊語り出すヒロイン

＊次第にサイコパスじみた楽しそうな話し方になっていく

はじめまして、お兄さん。

私の自己紹介は必要ない、ですよね？

だってあなたは、何ヶ月もの間、毎日毎日私に付き纏って、ずーっと私のことを見ていましたからね。

私のゴミを漁って、盗撮して、下着を盗んで、それをオカズに惨めなオナニーをする、最低なストーカーさんですもの。

私のことは何でも知っていて当然ですよね。

最初、あなたの存在に気づいた時には、気持ち悪いと思ったんです。

得体の知れない成人男性が、異常な執着を持って私に付き纏っているなんて。でもね、だんだん、だんだん、お兄さんがこんなにも私に興味を持ってくれていることが、なんだか嬉しくなってしまうて。

お兄さんに対して興味が湧いてきたんです♪

素敵でしょう？ これって一種の相思相愛だと思いませんか？

……それにしてもお兄さん、不用心だと思いませんか？

ポストの裏に自宅の鍵を隠しておくなんて。

私、すぐに見つけて、簡単にお兄さんの部屋に入れてしまいましたよ？

だから知ってるんです。

お兄さんの部屋には盗撮した私の写真がいっぱい貼ってあるって。

こんなたくさん見られていたんだなんて、なんだか照れちゃいますよね♪

そういえば私の下着もいくつかお兄さんの机の引き出しに大切にしまわれていますよね？

盗んじやうなんて酷いですよ？

あれ？ 確か、盗難と盗撮って犯罪ですよね？

そもそもストーカーが犯罪でしたっけ♪

このまま警察に行ったら、お兄さんは逮捕されてしまいますかね？

*通報されると思っ少し身構える主人公

*おどけたように少し距離を取るヒロイン

……はは、うそうそ、冗談ですよ！

通報する気なんて全くありませんから。

やっと生身のお兄さんと会えたのが嬉しくて、つい喋りすぎてしまいました。

お兄さんの部屋に設置した監視カメラで、画面越しに毎日毎日、ずーっとお兄さんのことを見ていましたからね。

親の仕送りで生活しているのに、大学にも行かず、オナニーばかりして、か弱い女子高生をストーカーする犯罪者で、墮落した生活を送ってしまう……、可愛い可愛いお兄さん♡

お兄さんと対面して、つい興奮してしまいました。

……でも、

お兄さんも、私と話せて嬉しいんじゃないですかー？

ずっと追いかけてきた女の子が、こんなに近くに、触れられる距離にいる。

ほら、ふー……っ。

ね？ 息づかいまで聞こえますよ？

抱きしめたい？ キスしたい？

それともぐちゃぐちゃに犯してみたいですか♪

でもね、私もお兄さんと一緒に気持ちなんです。

私も、お兄さんのことを抱きしめたいし、キスしたいし、ぐちゃぐちゃに犯して、自分だけのものにしたいって思っていました。

ふふふっ、これって相思相愛ですよ？ お兄さん♪

*清楚で大人しい性格だと思っていたため怯える主人公

あれ、なんで怯えているんですかね？

イメージしていたお兄さんの中の《私》とは性格が違いましたか？
大好きで、ストーカーし続けた女の子がこんなに近くに、目の前にいるのに。
喜んでももらえないだなんて心外ですよー。

まあでも、この日のためにしっかりと準備をしてきましたから♪

*主人公に抱きつくヒロイン

ほら、ぎゅーっと抱きしめてあげます。ぎゅーっ。

あたたかいですか？ やわらかいですか？

恥ずかしい？ それともずっとこうしていたい？

……あなたがどう思っているように、逃しませんよ、お兄さん♪

*主人公の首にスタンガンを撃つヒロイン

*主人公は気絶して倒れる

ふふ、スタンガンって意外と効くんですね♪

……さて、しばらくの間、おやすみなさい、お兄さん。

あなたは私のものです♪

*第一章 終了

第二章【監禁】

全裸拘束で自由を奪います、耳舐めでおちんちん勃起させてください♡

*目を覚ますと全裸で拘束されている主人公

……あら、やっと目が覚めましたか？

おはようございます、お兄さん♪

*起きあがろうとして拘束具に阻まれる主人公

ごめんなさい。

お兄さんが気絶している間にここまで運んで、服を脱がせて拘束してしまいました。

ここは秘密の場所にある廃墟の病院です。

周りには何もないから、いくら叫んだって助けは来ませんよ。

ちなみに、いまお兄さんを動けないように拘束しているのは、この病院で使われていた分娩台です。

両足を大―きく広げて固定されて、お兄さんのおちんちんからお尻の穴まで、大事なところがゼーんぶ丸見えですよ♪

恥ずかしいですか？

暴れたって逃げられませんよ。

いまからお兄さんは、私に犯されてしまうんですから♪

全裸で身動きが取れないまま、自分がストーカーしていた女子校生に、好き放題、蹂躪されてしまう。

心が躍りますよね？ 楽しいですよね♪♪

いっぱい、いっぱい、壊れるまで可愛がってあげますからね♪

まずは、お兄さんのその小さなおちんちんを勃起させてみてください。

勃っていないと、楽しく遊べないですからね？

お兄さんは両手を拘束されているからもちろんおちんちんには触れないし、私も触りませんけど。

だーいすきな私というだけで興奮するなら、触らなくても簡単に勃起できますよね？

お兄さん♡

ふふ、いきなり監禁されて、怖くて勃たないんですか？

お兄さんは小心者だから、仕方ないですよ。

しょうがないから、私が少しだけ手伝ってあげましょう♪

ほら、こうやってお兄さんのお耳を……

ふー……ふー……ふー……。

はぁー……ふー……ふー……。

ふふ、息を吹きかけられるのは気持ちいいですか？

こんなに近くに私がいるのに、触れられないし、身動きが取れないだなんて。もどかしいでしょうか？

たっぷりと吐息を感じて、しっかりと勃起してくださいね♪

ふー……、ふー……。

はあー……ふー……、ふー……♪

いい感じに甘勃ちしてきましたね♪ 偉いですよ♪
それでは、今度はこちら側のお耳も。

ふー……。ふー……。

はあー……ふー……。

ふー……♪

ストーカーしていた女子高生に、逆に監禁されて。

お耳に息を吹きかけられるだけで甘勃ちしてしまっ、情けないですね w
拘束されて抵抗する術もなく、ただ好き放題に弄ばれるだけなんて♪

ほら、もう一度いきますよ？

はあー……ふー……。ふー……♪

ふー……。ふー……♪

はあー……ふー……♪

こんなので感じてしまうなんて……。

お耳を舐めてみたら、もっと気持ちよくなってしまいますかね？

ほら、舐めてみますよ♪

はあむっ……んれろ、ちゅっ、ちゅっ♪ れるれる。

れろおっ、れろれろお、ちゅっ、れろ、れろお♪

ほらほら、どんどん勃ってきましたよ？

おちんちんには触れられていないのに、情けなくそそり勃たせて。

何を期待しているんですか？ w

はぁー……ふー……♪

れるっ。れるれるっ、ちゅっちゅー、ちゅちゅちゅ♪

れーるっ、れるっ、れろれろっ、れろれろ。

れろっちゅっ…れるれるお♪

反対側もしっかり気持ち良くしてあげましようね。

れろお、ちゅっ、れえろれろっ、ちゅっ、れろお♪

れえろおっ、れるれるれろっ、ちゅっ、れろ、ちゅっ。

ふー……。ふー……♪

女子校生に監禁されて、勃起してしまうなんてマゾなんじゃないですか、お兄さん？

ほら、はやく完全に勃起させてください。

はぁー……ふー……。

はぁむっ…れるれるっ、ちゅっ、れるれるっ、れろっ。

ん、れるれるっ、れるっ、ちゅっ、れろれろ、れるれるれろ♪

んれろおっ、れるっ、ちゅっ、れるれるれろお♪

耳を舐められるだけで、抵抗できずに、手も使わずに、されるがままに、情けないマゾおちんちんを、ビンビンに、勃起させる♡

*マゾ煽りをされてフル勃起する主人公

わあ♪すごいです、ビンビンに勃起しましたね！

お兄さんのマゾおちんちんが、立派に、固くそそり立っていますよ？

よくできました♪

しっかり勃起できましたね、お兄さん♪

*第二章 終了

第三章

【乳首責め】お兄さんはマゾだから、乳首だけで感じますよね？

*引き続き全裸で拘束されている主人公

お兄さんのおちんちん、触らなくてもしつかりと勃起できましたね♪
えらいです。

次はお兄さんの乳首を弄りましょう♪

お兄さんはマゾだから、もちろん乳首だけで感じられますよね？

えっ？

ストーカーされていたはずなのに、なんでこんなことをするのかって？

……あなたと私は《相思相愛》だからですよ、お兄さん♡

あなたが私にしたかったことは、私があなたにしたいこと。

二人は想い合っているんです。

だから、たっぷり可愛がって、ぐちゃぐちゃに犯してあげますからね♪

まずは、お兄さんの胸全体を撫で回します。

あたたかい手のひらで、

すりすり、すりすり。すりすり、すりすり♪

すりすり、すりすり♪

ふふっ、気持ちよくてピクッピクって震えていますね♡

私に触られるの、そんなに嬉しいんですか？

なんだか私も嬉しくなってしまうですね。

次は、指の腹で両方の乳首を優しく触りますよ、ほら。

……とんとん、とんとん。とんとん、とんとん♡

とんとん、とんとん♡ とんとん、とーんとん♡

優しく触っただけなのに乳首が勃ってきてしまいました。

裸で拘束されて、陰部を丸見えにしながら乳首を弄られて。

普通の人だったら恥ずかしくて屈辱的な行為のはずなのに、お兄さんはマゾだから興奮してしまうんでしょうか？

おちんちんも乳首も勃起してますよ？

ストーカーな上に、ど変態マゾだったんですね♪

さて、今度は両手で乳首を軽く摘みます。

こりこり、こりこり。こりゆこりゆ、こりゆこりゆ。

こりゆこりゆ、こりこり。こりゆこりゆ、こりこり、こりこーり♡

気持ちよさそうですねえ。

次は爪で軽く引っ搔いてみましょうか。

右乳首からいきましょうね。

親指と中指で乳輪をきゅーっと引っ張って、乳首を浮き上がらせてから、

かりっ…かりっ…♡ かりかり♡かりかり♡

かりっ…かりっ…♡ かりっ…かりっ…♡ かりかりかりかりー♡

ふふ、すつごーい。乳首が硬くて敏感になってきましたね。

次は左乳首ですよ。

かりっ…かりかり♡かりかり♡かりかりっ♡

かりっ…かりっ♡ かりかりっ♡ かりかりかりっ♡

乳首をカリカリされて、気持ちよさそうです。

でもマゾのお兄さんには、この程度の刺激じゃ物足りないでしょう？

それなら、こんなものはどうですか？

この病院に落ちていた医療用のクリップです♪

医療用だから挟む力はかなり強そうに見えますね。

これでお兄さんの乳首を挟んじやいましょうか♪

いっぱい触って、こりこりして、敏感になった乳首に、こんな強力なクリップを挟んだらどうなってしまいうんでしょうか？ ふふっ♪

さあ、右乳首からいきますよ。

せーのっ、ぎゅーーーーーーっ♪

……わあ！ すごいすごい♪ 身体がビクンと跳ね上がりましたよ！

乳首が真っ赤になってしまいましたねw 可愛らしいですよ♪

思い切り挟まれて、痛いですか？ ヒリヒリしますか？

それともマゾだから痛みで興奮してます？

*痛みに耐えながら違うと否定する主人公

……口では否定しても、おちんちは勃起してますよね w
節操のないマゾおちんちんですね♪

右だけでは寂しいと思うので、左乳首も挟んでしまいましたよね。
力を入れて準備してくださいね。

挟みますよ、せーの、ぎゅぎゅぎゅー……♪

……わあー、びっくんびっくんって、おちんぽも痙攣してます♪
我慢汁がでてしまってますよ♪

あつ、射精してはだめですからね？

それにしても、乳首を挟まれて、痛みで涙目になって、なのにイキそうだなんで。

恥ずかしいですね？

情けないですね？

そもそも自分がストーカーしていた女の子に、逆に監禁されてしまうなんて。
詰めが甘すぎるんじゃないですか？

まあ、お兄さんはどうしようもない犯罪者だから、自分も同じような目にあってもしょうがないですよね♪

では、そろそろ仕上げに入りますか♪

お兄さんの両乳首に挟んだクリップの先端に、紐を結んで……
つなげてしまいました♪

いまからこの紐を思い切り引っ張って、クリップを外します♪

ふふ、お兄さんの乳首どうなってしまうか分かります？

しっかりと挟まれているから、乳首ごと千切れてしまうかもしれませんね？

……その怯えたお顔、とっても素敵ですよ。

私も興奮してしまいます♡

*やめてくれと懇願する主人公

……「やめてくれ」なんて言われても、やめるはずないですよね？

お兄さんには抵抗する術も、抗う権利もないのだから。

私にぐちゃぐちゃに蹂躪されるのを、ただただ、受け入れるしかないんです。

……さて、引っばりますよ。

しっかりと痛みを感じてくださいね。

……さん、に、いち、そーれっ♪

わーっ、すごい勢いで外れて飛んでいきましたね？

大丈夫でしたか？w

乳首が真っ赤に腫れてしまいましたね♪

うわー、とっても痛そうです。

……ふふつ、腫れ上がってとっても敏感になっている乳首に、刺激を与えたら
どうなるんでしょうか？

すぐにやってみましょうね、もちろん拒否権はないですよ。

まずは乳首に息を吹きかけてみましょう♪

はあー……ふー……ふー……♪

ふー……ふー……♪

*痛みにしじろぐ主人公

ふふ、風があたるだけでヒリヒリ、ジンジンして、身じろいでしまいますね。

いままでで一番敏感に感じてくれているみたいで、楽しいです♪

やっぱり、お兄さんは正真正銘のマゾだったんですね。

じゃあこれはどうですか？

あたたかくて、ねっとりとした私の舌で右側の乳首を、

はあむつ、んれろつ、ちゅつ、んちゅ。

痛めつけた後の敏感な乳首を舐められてしまったら耐えられないですか？

目を潤ませて、震えている表情が素敵ですよ。

んちゅつ、れろつ、れろれる、ちゅつ、んちゅうつ。

左の乳首は指先で摘まんでこりこり、こりこり。

わあ、刺激しすぎて腫れ上がった乳首が熱くなってしまうていますw

ちゅつ、んちゅつ、れろ、ちゅつ。

カリカリ、カリっ♡カリっ♡ んれろちゅつ。

はあむつ、んれろつ、ちゅつ、んちゅ。

ちゅちゅつ、こりこり、こりこり、んれろお。んちゅれろお♪

＊刺激に耐えきれずに射精する主人公

わっ、射精してしまいましたね！

こんなにたっぷり出してしまつて……♡

ふふ、マゾ乳首で感じられる立派な雌犬ですね♪

……でも、許可してないのに射精するような淫乱な雌犬には、躰が必要です。
そうですね、お兄さん♪

＊第三章 終了

第四章

【射精管理】絨毛ローション手コキします、勝手に射精してはいけませんよ♡

*引き続き全裸で拘束されている主人公

さて、勝手に射精するダメなお兄さんには《射精管理》が必要ですネ。
乳首を弄られただけでイッてしまうなんて……、とんだ淫乱ですよ。

でも大丈夫、私が《躰》してあげますから。

射精を制御できるように、しっかり練習しましょう♪

これがなんだか分かりますか？

表面に細かいイボイボがびっしりとついた《絨毛手袋》です。

絨毛のような細かいイボイボが、お兄さんのよわよわおちんぼの気持ちいい部分を逃さないで刺激してくれるんですよ♪

この手袋を装着して、お兄さんのおちんちんをシコシコしてしましましょう♪
普通の手コキよりも、何倍も強い刺激と快楽が襲ってくるんです。

素敵でしょう？

でも、勝手に「射精」してはいけませんからね？

私との約束ですよ？

まずは、この手袋にローションをたっぷり垂らしますね♪

とろー、とろとろー。とろとろとろー♪

うん、しつかり濡れましたね♪

次はお兄さんのおちんちんにも、たつぷりローションをかけて、
 とろとろ、ぬるぬる♪ とろとろとろとろ♪

はい、たつぷりと濡らしました♪

ねっとりしていて気持ちいいですか？

準備はバツチリですね♪

それでは、お兄さんのマゾおちんちんを軽く握って……。

シコシコ、シコシコ。シコシコ、シコシコ。

ふふ、シコシコするたびにローションがぬちゅぬちゅいつてますね♪
ゆっくり動かしているだけなのに、想像よりも強い刺激でしょう？

お兄さんの敏感な部分を、手袋の凹凸が逃さず刺激するんです。

しごき始めたばかりなのに、おちんちんがピクピクしてますよ？

大丈夫ですか？
我慢できますか？

まだ射精してはだめですからね？

お兄さんのおちんちんをゆつくりと、シコシコ、シコシコ。

ねつとりと、気持ちよくなるように、
シコシコ、シコシコ……♪

手袋の突起が亀頭や裏筋にも絡みついて、甘い刺激を与えていますね。

お兄さんは、この快楽に耐えなければいけないんです♪

ゆっくりやわしく、シロシロ、シロシロ。

丁寧な、敏感な部分を、シコシコ、シコシコ♪

どんなにしごかれてもまだイっつてはだめですよ。

……さて、
少しずつペースを早めていきましようか♪

シコシコ、シコシコ。シコシコ、シコシコ♪

ふふ♪身体がぴくんと跳ねて、おちんちんがプルプル震えてますね。

おちんちんの穴がくぱくぱして我慢汁が滲み出てしまってます♪

発情期の雌犬みたいに蕩けたお顔になってしまつて。

これくらい速い方が気持ち良いんですか？

ほら、シコシコ、シコシコ、シコシコ、シコシコ。

全裸で拘束されて、おちんちんを好き勝手にしごかれているのに、射精はゆる
されていない。

こんなに気持ちいいのに我慢しなくてはいけないなんて。

おかしくなつてしまいますよね？

ザーメンを出してしまいたいですよね？

でも、まだダメですよ。

我慢した分だけ、気持ちよく射精できるんですから♪
がんばってください、お兄さん♪

次は、こんなのはいかがでしょうか？

お兄さんの亀頭を重点的に、

ぐりぐり、しこしこ。ぐりぐり、しこしこ。

ふふ、さつきより敏感な部分に当たっているでしょう？

亀頭ばかりシコシコされるのは気持ちいいですか？

おちんちんに快感を蓄積させていきましょね♪

ほら、強く握つて。

ぐりゅぐりゅ、ぐりぐり、

ぐりゅぐりゅ、ぐりゅぐりゅ……♪

どんなに気持ちよくても止めませんよ？

ほら、シコシコ、ぐりゅぐりゅ。シコシコ、ぐりゅぐりゅ。

うん、涙目になりながらもよく我慢できていますね♪

最高の表情をしていますよ♡ 可愛らしいです♪

それなら次はもっと激しく動かしてみましよう♪

シコシコシコシコ♪ シコシコシコシコ♪

せっかくいままで我慢してきたのに、こんなに激しく扱いたら快樂が一気に押し寄せてきてしまいますね？ w

気持ちよくて、頭の中がぐちゃぐちゃになってますか？

おちんちんイってしまいそうですか？ w

涙を滲ませて、息を荒くして、激しい手コキに耐えることしかできない可愛いお兄さん♪

シコシコシコシコ！ シコシコシコシコ！

もう我慢汁がドバドバですよ♪

限界なんでしょう？♪

ほら、シコシコ、シコシコ！ シコシコ、シコシコ！

……そろそろお射精しましょうか♪

ちゃんと私のタイミングに合わせてイってくださいね？

惨めなマゾ面を晒しながら、全裸で拘束されて♪

抵抗できずに、シコシコされて、射精のタイミングまで管理されながら、

よわよわマゾおちんぽで♪

さあ、今ですよ！

イケ、イケ、イケっ、イケっ、いつちやえ♡

わあっ、ザーメンがたくさん出てしまいましたね？

私の言う通りにちゃんと射精できて偉いですよ、変態マゾお兄さん♪
射精管理されてその通りにイクなんて、マゾ確定ですネ♪

＊第四章 終了

●第五章

【前立腺】淫乱メス穴を開発して、メスイキしようね♡

*引き続き全裸で拘束されている主人公

さて、《射精管理》ができたお利口さんのお兄さんには、ご褒美に《前立腺開発》をしてあげましょう♪

おちんちんだけじゃなくて、お尻でも気持ちよくなれたら、もっと楽しいはずですよ。

特にお兄さんみたいな変態マゾには、雌穴絶頂がお似合いですからね。

きつと楽しめるはずです♪

私がお兄さんの部屋に設置したカメラを見ていた限り、お尻での行為は初めてだと思いますけど。

頑張って気持ちよくなりましょう♪

では、さっそく。

先ほどから丸見えのお尻の穴をもっと近くで見てもみましょうか。

……わあ、ひくひくしていて、淫乱そうなアナルですね♪

アナルの入り口を触ってみましょう。

つつー、つつつー♪

ふふ、そわそわしますか？ お兄さんの知らない感覚ですかね？

これからもっと気持ちよくしてあげますからね♪

まずは、アナルの入り口を指で広げてみましょう。

くばあ、くばあーっー♪

ふふっ、内側がピンク色で綺麗ですよ。

お兄さんの可愛いアナルを、私が立派な雌穴にしてあげます♪
指で押し広げたアナルに、人差し指をゆーっくり、

ぬぶ、ぬぶぬぶ、ぬぶぶぶ〜♪

わあ、人差し指がずっぽり入ってしまいました♪
初めてでも一本なら簡単に入るんですね。

お兄さんのナカ、あったかくてやわらかくて気持ち良いです♪
少しだけ動かしてみましようか？

くちゅ、くちゅ、ぬちゅ、ぬちゅ。

くちゅ、くちゅ、ぬちゅ、ぬちゅ、ぬちゅちゅちゅ〜♪

指を動かすたびに身体がびくびく震えて可愛らしいですね。

でも、お兄さんの雌穴、なんだか寂しそうです。

淫乱マゾのお兄さんの雌穴は、指一本だけでは物足りないですよ？

もっと欲しい、もっといれてって雌穴がヒクヒクしてますよ？

くちゅ、くちゅ、ぬちゅ、ぬちゅ。

指一本だけで中をかき混ぜるのでは、足りないですよ？

ふふ、アナルがきゅーって締め付けてきますよ、肯定の意味でしょうか？

可愛いそうだから、もう一本指を入れてあげましようね♪

このまま中指を挿入していきますよ♪

ゆっくりと、ぬぶ、ぬぶ、ぬぶぶぶぶ〜♪

ぬぶぬぶ〜♪

わあ、二本目が入りましたね！

とってもキツそうだけどしつかり飲み込めて立派なマゾ穴です。

えらいえらい、お利口さんですね♪

お兄さんの雌穴が、私の指をしっかりと咥え込んで締め付けています。そんな内側をきゅうきゅうさせて、そんなに嬉しいんですか？

……もっと気持ちよくなるように動かしてあげますね♪

ぎちぎちにつまった二本の指で、

ぬちゅ、ぬちゅ、くぽ、くぽ♪

お兄さんの雌穴をぐちゃぐちゃにかき混ぜてしまいますよ♪

さつきよりキツく締め付けられて、ぎちぎちで動かしづらいです。

もっと力を抜いてくださいよ、マゾお兄さん♪

ほら、くちゅ、くちゅ、ぬぽ、ぬぽ♪

ぬちゅ、ぬちゅ、くぽ、くぽ♪

出し入れに合わせて腰をへこへこさせて、どうしたんですか？

もしかして気持ち良いところに当たるように腰を浮かせてます？

わあ、びっくりです。

こんな状況でも快楽を求めるだなんて。

やっぱり淫乱なんですね、お兄さん♡

お兄さんが、お尻を弄られて喜ぶこんな雌マゾだったなんて、見ていただけじゃ分かりませんでしたよ。

自分がストーカーしていた女の子に、お尻の穴を弄られてますよ？

それなのに……。

いまどんな気持ちですか？

惨めで情けないのに、気持ち良さが優ってしまいますかね♪

指でアナルをぐちゅぐちゅにかき混ぜられるだけじゃなくて、もっと気持ちよくして欲しいですか？

＊恥ずかしそうに「気持ちよくしてください」と言う主人公

……ふふ♪ 感じながら求めるなんて、どうしようもない変態ですね♪
お望み通り、もっと気持ちよくしてあげますよ。

では、お兄さんの前立腺を探してみましょう♪

アナルの中を、ぐにぐに、ぐにぐに。

指を曲げて、前立腺を探しながら、細かく丁寧に、お兄さんのナカを触っていきますよ。

ぐにぐに、ぐにぐにゆ♪

ここが気持ち良いですか？

それともこっちですかね。

お兄さんのナカ、やわらかくて気持ち良いです♪

そんな顔されたら、たくさんぐにぐにしたいくなってしまうですよ。

ほら、ぐにぐに、ぐにぐに♪

＊前立腺を探り当てられて感じる主人公

……わあ、身体がピクンと跳ねましたね♪

ふふ、見つけた♪

ここが良いんですね、お兄さん。

お兄さんの弱点、見つけてしまいました♡

ここが、お兄さんのよわよわな前立腺ですね♪

前立腺を、軽く触っていきましょう。

トントン、トントントン、トントン♪

少し触っただけで、先ほどとは全く違う反応です。

……前立腺に触られて、気持ち良すぎて我慢できないみたいですね♪
好きなだけ声を出していいんですよ？

だってこの場所には誰も来ませんから♪

ここには、私とお兄さんのふたりだけ。

拘束されたお兄さんは、身動きも出来ずに、ただただ雌穴を犯される。
体の中の一番弱いところを見つけられて、徹底的にそこを責められる。

トントン、トントン。

トントン、トントン。

前立腺が見つかってしまいましたね？ w

気持ち良さが押し寄せてきますね？ w

でもあなたは逃げられない。

ただただ、前立腺を刺激されながら、押し寄せる快楽を享受するだけ。

ふふ、ふふふふ♪

最高に惨めですよ、最高に素敵です。

*ヒロインが通常の楽しそうな様子に戻る

さあ♪ もう少し激しく、刺激してみましようか♪

ぐりぐり、ぐりぐり。

ぐりぐり、ぐりぐり！

強く押したら、さらに気持ち良さそうな顔になりましたね♡

お兄さんの一番弱いところを、手加減なしで刺激してしまいました♪

ほら、ここが気持ちいいんでしょう？

お兄さんの雌穴の中の、敏感な部分を容赦なく責めますよ。

ぐりゅぐりゅ、ぐりゅぐりゅ！

ぐりゅぐりゅ、ぐりゅぐりゅ！

気持ち良いですか？

イキそうですか？

良いんですよ、思う存分感じてくださいね？

お兄さんは、私に雌穴を弄ばれて快楽に堕ちるだけのマゾ玩具なんですから。

メスイキしてしまいませんか？

ほら、ほらほら♪

*ヒロインが楽しそうに興奮した様子でメスイキ煽り

前立腺をぐりぐりされて。雌犬のように。腰をへこへこさせながら。

快楽に溺れて。女の子の指で。惨めに。オスとしての尊厳を捨てて。

マゾ雌穴で。

メスイキしろ、メスイキしろ、メスイキしろ♪

イケ、イケ、イケイケイケ♪

*主人公がメスイキ射精

……ふふっ♪

「メスイキしてください」と言ったのに、射精までしてしまうなんて。

前立腺を刺激されてそんなに気持ちよかったんですか？

いっぱい気持ちよくなってよかったですね、お兄さん♡

立派な雌マゾになってきましたね♪

＊第五章 終了

●第六章

♪【尿道・アナル】尿道プラグとアナルビーズ挿入、マゾ玩具になってください

*引き続き全裸で拘束されている主人公

外は雨が強くなってきましたね……。

ふふ、心配しないでください。

いまは監禁させていただいていますが、お兄さんのことはちゃんとお家に帰してあげますから。

……最後まで壊れなければの話ですが♪

先ほどは前立腺を刺激されて、立派にメスイキできましたね。

よっぼど雌穴を虐められるのが大好きなマゾのようです。

アナルで感じるのがそんなにも大好きなら、おちんちんはもう必要ありませんね？

要らないのなら、栓をしてしまいませんか♪

これは尿道プラグです♪

15センチほどのステンレス製で、ビーズのような凹凸がありますね。

ぽこん、ぽこんと膨らんだ形をしていて、少し厚みもあるみたいですけど。

こんなものが、本当に男の人のおちんちんに入るのでしょうか？

ああ、でもお兄さんは雌マゾだから、簡単に飲み込めますかね♪

ふふ、怯えないでください？

お兄さんなら、きっと気持ちよくなれますよ♡

やってみないと分かりませんから、挿れてみましょう？

挿入しやすいように少しだけローションをつけて、

ぬるぬるゝ、とろとろゝゝ♪

こんなにぬるぬるにしたら、スルリと入ってしまいそうです♪

さて、力を抜いてくださいね。

力んでいると、痛いかもしれませんよ？

少しずつ入れていきますからね♪

力を抜いて、せーの。

つぶつぶ、つぶつぶゝゝ。

ふふ、声にならない悲鳴をあげていますね？

そんなに気持ち良いのでしょうか？

それとも、痛みで気を失いそうなんですかね？

アナルだけではなく、おちんちんの穴まで犯されてしまっ

もう人間の尊厳なんて残っていない、ただの淫乱マゾ雌に成り下がってしま
いましたね、お兄さん♡

でも、まだ入ったのは先端だけですよー？

次は一番奥まで一気に挿れてしましましょう♪

おちんちんの中に、異物が入り込んでくる感覚をしっかりと感じてくだ
さいね？

おちんちんの穴を無理やり犯される感覚……。

マゾなら気持ちよくなれますよね？

いきますよー？

つぶ。つぶつぶ。

つぶつぶ。つぶつぶつぶ。

わあ、こんな長さの棒がおちんちんに入り切るなんて驚きました。

尿道にモノが入っていくところなんて初めてみましたよ♪

あら？ 涙を流して、涎まで垂らしてどうしたんですか？ w

刺激が強すぎて、何も言えなくなってしまいましたかね？

ほら、見てください？

お兄さんのマゾおちんちんに、プラグが刺さってしまっていますよ？

恥ずかしいですね、惨めですね？

こんなにも情けないおちんちん、見たことがないですよ。

……でも、これで終わりではありません♪

おちんちんの穴は塞がりましたが、お兄さんのマゾアナルには何も入っていませんからね♪

淫乱な雌穴が、挿れて欲しそうに、ヒクヒクしてるのが丸見えですよ。

堪え性のないマゾ穴ですね♪

安心してください？

私はお兄さんのことが大好きだから、ちゃんと挿れてあげますからね♪

お兄さんのためにアナルビーズを用意しました。

七個のビーズが連なっていて、だんだんとビーズが大きくなっていくんです♪

一番小さいのは3センチくらいでしょうか？

少しずつ大きくなっていて、一番大きいのは8センチくらいありますね♪

全部飲み込めれば、お兄さんの雌穴をしっかりと広げられそうです♪

もちろん、尿道プラグは挿入したままでビーズを挿れていきますよ。

雌穴をヒクヒクさせて、嬉しいんでしょうか？

それでは、挿れていきますよ。

一個目のビーズを、

ぬぷ〜♪

ふふ、一個目は小さいので簡単に入ってしまいましたね？

雌穴に突っ込んでもらえて嬉しいですか？

よかったですね♪

このまま続けて挿れてほしかったら、おちんちんをフリフリしておねだりしてみてください。

ほら、私のことを楽しませてくださいよ♪

*拘束されながらも必死で陰茎を振る主人公

わあ、プラグの刺さったおちんちんを必死にフリフリして……。

すごいですね、惨めすぎますね♪

淫乱マゾのお手本みたいですよ、お兄さん♪

そこまでしてお尻にビーズを挿れて欲しかったんですね。

その惨めさが愛らしいです……♡

上手にできたので、二個目を挿れますね。

ぬぷぬぷ、ぬぷ〜♪

二個目も上手に飲み込めましたね。

さすがマゾのお兄さんです。

お尻で飲み込むのがとっても上手ですよ。

この調子なら次も余裕そうですね♪

三回目と四回目は一気に挿れてしましましょう。

さあ、力を抜いてください。挿れますよ。

ぬふ、ぬふぬふ〜♪

ぬふぬふ、ぬふ〜〜〜♪

ふふ、少しずつビーズが大きくなっていくのに、ふたつとも簡単に入ってしまったいました♪

雌穴マゾの素質があったなんて私も知らない一面でしたよ、お兄さん。

お尻の穴にビーズが四個も入ってしまったて……。

流石に中がギチギチになつてきましたね？

……でも、全然苦しそうじゃない。

むしろ、とっても蕩けたお顔で、気持ちよさそうで幸せそうです♪

お兄さんが幸せになれて、私も嬉しいです。

次のビーズは先ほどよりも大きいですよ？

直径は6センチくらいでしょうか？

ゆっくりと挿れますね。

ぬふ……ぬふ……ぬふ〜〜〜♪

っと、ギリギリですが、なんとか入りましたね。

お兄さんのキツキツの雌穴が中からビーズを押し返してますよ。

さっきまで処女アナルだったのが信じられないくらい、たくさんのビーズが中に入っています。

おちんちんも、
 アナルも、
 ギチギチに詰まっ
 ちゃってしまっ
 ているんですよ♪

可愛いです、可愛いですよ、お兄さん。

とっても素敵で惨めな姿を見せてくれてありがとうございます。

*陰莖を振り喜ぶ主人公

……ふふ、おちんちんを振って喜んでいるんですか？

もう限界ですかね？

快樂で頭がおかしくなりそうですよね。

残りのふたつは連続で挿入してしまおうか♪

六個目のビーズを、

ぬふ……、ぬふ……、ぬふぬふ……ぬふ〜〜〜♪

…なんとか入りました♪

ビーズが大きすぎて、雌穴の入り口がはちきれそうです。

さらに大きい最後の七個目を、

ぬふ
⋮
ぬふ
⋮

ぬ
ふ
ぬ
ふ
ぬ
ふ
ぬ
ふ
ゝ
ゝ
ゝ
♪

わあ、すごい！

全部入ってしまいましたよ？

こんなに大きなものをたくさん飲み込んでしまうなんて。

お兄さんのアナルおまんこ、優秀な雌穴だったんですね♪

全てを飲み込んで、嬉しそうにヒクヒクしていますよ。

素晴らしいです。

もちろん、これだけでは物足りないですよね？

たくさんのビーズがアナルの中に詰まっていて、雌穴が切ないですよね？

さつきから入り口がヒクついていますよ♪

大きなビーズが詰まりすぎて引っ張ってもなかなか動かなさそうです。

無理やり引き抜くとお兄さんの雌穴が壊れてしまいそうです。

…でも、それでもいいですよね？♪

思い切り、ビーズを引き抜いて欲しいのでしょうか？

私はお兄さんの望みが分かるんですよ。

だってお兄さんのこと、ずっと見ていましたからね。

大好きですよ、お兄さん♪

*主人公の左耳に軽くキスをするヒロイン

ちゅっ♡

ほら、お兄さんの言葉で言ってください？

「アナルビーズを引き抜いて、淫乱な雌穴を破壊してください」って♪

*自分の言葉で宣言する主人公

……ふふ、よくできました、たっ……！！！！♪

*台詞の終わりと同時に勢いよくアナルビーズを引き抜くヒロイン

*メスイキ絶頂して失神する主人公

すごいすごい♪ 盛大にメスイキ絶頂しましたね♪

メスイキの余韻が長く続いて、身体がガクガク痙攣してますよ？

……あらあら？ 絶頂しながら失神してしまったようですね？

意識を失っているのにアナルはヒクヒクしていて、とっても気持ち良さそう♪

気持ちよくなれてよかったですね、お兄さん♪

最後は私が直接、壊してあげますからね♪

*第六章 終了

●第七章

【逆アナル】私の愛情をメス穴で受け止めてくれますよね♡

*全裸でベッドの上に寝ている主人公

*拘束はされておらず尿道プラグも外されている

*主人公の覚醒に気づいたヒロインが部屋の端から歩いてくる

……目が覚めましたか♪

先ほどお兄さんは、絶頂して気絶してしまったんですよ？

拘束具と尿道プラグは外して、ベッドに寝かせておきました。

お兄さんが眠っている間に、雨は止んだようですね♪

*歩いてきたヒロインが主人公と同じベッドに腰をかける

おはようございます♪

メスイキの快楽で気絶するなんて、とんでもない淫乱ですね。

でも、まだ物足りないでしょう？

だってお兄さんは、マゾなんですもの。

私と一緒に、もっと気持ち良いことをしたいですか？♡

*耳元で囁かれて勃起する主人公

……がちがちに勃起していますね♪

あんなに滅茶苦茶にされたのに、もっと気持ち良くなりたいだなんて。
やっぱりお兄さんは、変態淫乱マゾヒストですよ。

素晴らしいです♪

立派なマゾになれたご褒美に、私とセックス、しましょうか♡

……わっ、おちんちんがムクムクとさらに大きくなりましたね♪

私とエッチできるのがそんなに嬉しいんですか？

お兄さんのおちんちんが期待で膨らんでいますよ♪

＊少しだけ高揚した様子のヒロイン

でもね、お兄さん。

その粗末なおちんちんを使うことはないんです。

だって、私がお兄さんのことを犯すんですから♡

私が犯して、お兄さんは犯される。

訳がわからなくなるくらい滅茶苦茶に、気持ちよくしてあげますよ♡

＊冷静さを取り戻すヒロイン

……さて、これが何だかわかりますか？

これは今からお兄さんの雌穴を犯すためのペニスバンドです♪

双頭になっているので、私の方にも挿入して使います♪

一緒に気持ちよくなりましょう、お兄さん？

とっても楽しみですね♪

まずはスカートと下着を脱ぎますね。

そして、片方のデイルドを挿入します。

*控えめに感じるヒロイン

んっ……ふっ……っ……♡

みちみちと、私のおまんこに、デイルドが入って行きますよ。

っあっ……♡ こんなに太いものっ…挿れたことがないです…っ♡

ぬふ…ぬふ…って、入り込んでっ、んっ……ああ♡♡

はぁ……はぁ……♡

しつかりと入りましたよ♪

これでお兄さんの雌穴を存分に犯せます。

さあ、仰向けになってお尻の穴を開いて見せてください？

自分で足を持ち上げて、私のおちんちんを挿れやすくしてくださいね♪

……ふふ、恥ずかしがりがらもしつかりできましたね。

自ら恥部を丸見えにさせて。

やはり、お兄さんも私に気持ちよくして欲しかったんですね。

では、ゆっくりと挿れていきますよ。

んっ……♡ はぁ、はぁ……ふふ♪

お兄さんの淫乱な雌穴が、私のおちんちんをゆっくりと飲み込んでいきます。

ぬふぬふ、ねちねちと、肉壁が絡みつく感覚が伝わってきますよ。

もっと奥まで挿入していきましようね。

みちみち、みちみち、とお兄さんの雌穴を押し広げて、私のおちんちんが進んでいっています♡

本当に蕩けた顔で幸せそうですね。

私も幸せですよ、お兄さん♡

奥まで全部入りましたね♪

私のおちんちんの形や感触を、しっかりと感じてください？

お兄さんの中に、いっぱい、ギュウギュウに詰まっていますよ♪

太すぎてお兄さんの雌穴が壊れてしまいそうですね♪

いっぱい動いて、気持ちよくしてあげますね♪

*ヒロインも少しだけ感じながら腰を振る

んっ、はあっ……んっ、はあっ♡

どうですか？

たくさん突いて、前立腺を擦ってあげますよ♪

ふふっ、ここでしょう？

お兄さんの気持ちいいところ♡

当たりですか？

気持ち良さそうな声も出してしまっぺ。

お兄さんの、淫乱な喘ぎ声がよく聞こえますよ。

私のおちんちんで、マゾ雌穴をぐちゃぐちゃにしてあげます♪

女子校生にアナルを犯されているなんて、どんな気持ちでしょうか？

追いかけていた女の子に、逆に犯されてしまっているんです。

んっ、くっ、はぁっ……はぁっ……♡

屈辱ですか？

それとも夢みたいでしょうか？

その顔を見れば……答えは明白ですね♪

もっと激しくしてあげますよ♡

＊ヒロインは自分の快楽を押し堪えるような演技

＊次第に激しく腰を振っていくヒロイン

んっ、はぁっ、くうっ、んっ、んんっ♡

お兄さん、大好き、大好きです♪

正直、お兄さんがここまで私のことを受け入れてくれるなんて思いませんでしたよ。

はぁっ……んっ♡

こんな場所に監禁されたら、恐怖が優ってしまうのではないかと心配していたんです。

でもお兄さんはしっかりと気持ちよくなってくれた。

淫乱な雌穴で、私の行為を受け入れてくれたんです♡

これって、本当に幸せなことじゃないでしょうか？

はぁっ、んんっ……ぁぁっ♡

私たちの間には愛があるんですよ。

ねえ、お兄さん。

大好き、大好き、大好き、大好きっ、大好きです♡

身体がビクビク震えてしまっていますよ♪

私の愛情を感じて喘ぎ声も止まりませんね♡

* 快楽の限界が近付いてくるヒロイン

はあっ、あっ、あっ、んっ、んんっ♡

お兄さんがあまりにも気持ち良さそうに感じているから、私も気持ちよくなっ
てきてしまいました。

はあ、はあっ……くうっ、はあっ……♡

お兄さんも、もうすぐイキそうですかっ…？

もっと激しくしてあげますから、一緒に気持ちよくなりましょう？

つくう、はあっ、あっ、あっ、あっ♡

淫乱な雌穴で、私のおちんちんを受け入れて、メスイキしてください♡

んっ、っはあ、大好き、おにいさんっ、大好き、大好き♡

ずっと、ずっとずっと、お兄さんは私のもの♡

イケ、イケイケ、メスイキしてっ♡

っ、あっ、んうっ、イツ、くッ、イケイケイケイケ♪

あっああっ、あっ、んああっっ♡

* 主人公とヒロインが同時に絶頂

っはあ、はあ♡

……雌穴でイクはずだったのに、射精までしてしまいましたね♡

私のおちんちん、そんなに気持ちよかったですか？♡

……私も、とっても気持ちよかったですよ、お兄さん。

お兄さんのこと、さらに大好きになってしまいました。

ずっとずっと大好きですよ、お兄さん♡

永遠に私のものになってください。

＊第七章 終了

●第八章 【永遠の幸せ】—Epilogue

*5年後・結婚式場にいる主人公とヒロイン

……今日も雨が降っていますね。

初めて出会った日も雨でしたね、覚えています？

私はいまでも鮮明に覚えていますよ。

私たちの大切な記念日ですから♡

あのときのお兄さん、私に滅茶苦茶にされて、気持ち良さそうで、とっても可愛かったです。

あれからもう何年も経つんですね。

いまでも変わらず、私に虐められて可愛らしく喘ぐお兄さんのことが大好きですよ。

……あなたは私のもの、あなたを壊していいのは私だけ。

病める時も、健やかなる時も、

お兄さんの心も、身体も、未来も、その全てが私のものです。

お兄さんの存在の一切を私が所有して、管理して、愛し続けます。

……そろそろ式が始まりますね♪

いきましか。

永遠の愛を誓いましょう？

ずーっと一緒にいましょうね。

大好きですよ、お兄さん♪

*終了